Doyu 同友かながわ kanagawa
vol.423
2021 2

特集

DX デジタルトランスフォーメーション

DXは未来への投資 ちょっと急ぎ足で 変化してみませんか？

事例紹介｜小林運輸株式会社

小さな“困った”をIT化し、DXに育てていく

かながわAREAネットワーク
第3回 湘南支部

かながわPOWER
株式会社総合環境分析

環境水や飲料水中の農薬成分の自動分析装置/株式会社総合環境分析

SCHEDULE

※日程変更の可能性もあります。 e.doyuをご覧ください。

マークの行事はどなたでも参加できます。参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。TEL 045(222)3671

2月

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1 先勝 たま田園支部幹事会 相模原支部１月幹事会 川崎支部幹事会 県南支部幹事会	2 友引 県央支部幹事会 湘南支部幹事会	3 先負 横浜ブロック幹事会 政策委員会学習会・相談会	4 仏滅 求人委員会 正副代表理事会 広報委員会	5 大安 第24回共育講演会	6 赤口 経営指針入門講座「礎」	7 先勝
8 友引 小田原支部幹事会	9 先負	10 仏滅 理事会	11 大安 建国記念の日 青年部会幹事会（予定）	12 先勝 中堅社員研修会 女性部会幹事会 **ダイバーシティ委員会**	13 友引	14 先負
15 仏滅 横浜ブロック会議 **小田原支部例会**	16 大安 **湘南支部例会** **県南支部例会** **県央支部例会** 経営戦略研究会	17 赤口 横浜中央支部例会 横浜ブロック商談会	18 先勝 求人委員会 **青年部会例会** 組織委員会	19 友引 **たま田園支部例会** **相模原支部例会** **女性部会**	20 先負 経営指針実践セミナー	21 仏滅
22 大安 財務委員会	23 赤口 天皇誕生日	24 先勝 求人WG会議⑥ **同友会を知る為のオリエンテーション（予定）** 組織委員会	25 友引 求人委員会 **県央支部例会**	26 先負 **川崎支部例会**	27 仏滅	28 大安

3月

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1 赤口 たま田園支部幹事会 相模原支部幹事会 川崎支部幹事会 県南支部幹事会	2 先勝 県央支部幹事会 湘南支部幹事会	3 友引 横浜ブロック幹事会	4 先負 求人委員会 正副代表理事会 政策委員会 広報委員会	5 仏滅 幹部社員連続講座	6 大安 （予定）東日本障害者問題交流会	7 赤口
8 先勝 小田原支部幹事会	9 友引 中同協幹事会	10 先負 理事会＆入会式	11 仏滅 求人委員会 ものづくり広場 青年部会幹事会	12 大安 女性部会幹事会 ダイバーシティ委員会例会	13 友引 福島全研57部会事前研修会	14 先負
15 仏滅 横浜ブロック会議	16 大安 **湘南支部例会** 経営戦略研究会	17 赤口 **小田原支部例会**	18 先勝 求人委員会 **横浜中央支部例会**	19 友引 **たま田園支部例会**	20 先負 春分の日	21 仏滅
22 大安 人を生かす経営協議会	23 赤口 **川崎支部例会** **県南支部例会** **県央支部例会**	24 先勝 **横浜北支部例会**	25 友引 求人委員会 **相模原支部例会**	26 先負 総括会議／2021年度参加社会議①	27 仏滅	28 大安
29 赤口	30 先勝 **同友会を知る為のオリエンテーション（予定）** 組織委員会	31 友引 プレミアム例会				

特集 **DX（デジタルトランスフォーメーション）**

DXは未来への投資

＼ちょっと／急ぎ足で変化してみませんか？

株式会社応用ソフト開発　代表取締役　鈴木 克彦氏

昨年11月に開催された「第32回かながわ経営カンファレンスin川崎」は、コロナ禍での開催とあって、開催そのものにも賛否両論ありました。しかし、「今まで通りの商売のやり方では今後難しくなる」、「こういう時期だからこそ我々が変わっていかなければならない」というメッセージを伝えるため、開催に踏み切られました。

かなカンのメインテーマであるDX（デジタルトランスフォーメーション）について掘り下げていたのは、第５分科会。ファシリテーターは、（株）応用ソフト開発　代表取締役　鈴木克彦氏でした。テーマは、「DXって何だろう？　それって中小企業に必要なの？～あなたの会社は『現状維持』それとも『変化』どちらを選択するのか？～」。報告の中で、３社のDXを活用した具体例が紹介されました。しかし、分科会であったため、参加できた会員はごく一部でした。

そこで、今回は（株）応用ソフト開発代表取締役の鈴木克彦氏と小林運輸（株）代表取締役の小林誠氏に、「DX（Digital Transformation）：デジタルトランスフォーメーション」という今話題の言葉について、より詳しく掘り下げてお話し頂きました。

話題先行のDX

最近「DXで○○○」というCMをよく見かけます。この魔法のようなDXとは、いったい何なのでしょうか。withコロナ、ニューノーマルなどと言われ、今は変化の時期だと言われています。DXで変われるのか、DXは何の役に立つのか、はたまた儲かるのか。（株）応用ソフト開発の代表取締役鈴木克彦氏にお話を伺いました。

DXとIT化は何が違うの？

DXとは、「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念のことで、2004年にスウェーデンのウメオ大学教授、エリック・ストルターマン氏によって提唱されました。日本におけるDXは、2018年に経済産業省が「デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進するためのガイドライン」を取りまとめ、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」と定義としています。デジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること、既存の価値観や枠組みを根底から覆すような革新的なイノベーションをもたらすもの、という事です。

混乱するのは、IT化とDXの違いです。IT化とは、業務を効率化することが目的です。DXは、データやデジタル技術を活用することで組織構造や企業文化を変革しながら、モノの見方（パラダイム）を変え、新しいビジネスを生み出す事なのです。IT化しただけでは、DXにはなりません。IT化で削減できた時間や人、広がった商圏を使って何をするか、マインドを変え、ちょっと俯瞰して全体を眺めて考える。社内（内部）の利益だけでなく、お客様（外部）の利益も考えることが必要です。言い換えると、「IT化は現状への投資」、「DXは未来への投資」なのです。

では、具体的な事例を見てみましょう。

【事例１　神奈川同友会支部例会の場合】

コロナ禍で、神奈川同友会の支部例会はリアルで沢山の人が集まれなくなり、オンラインツール（Zoom）での開催となりました。そうすると、何が変わったでしょうか。まず、会場までの移動時間と交通費が不要となりました。開始直前まで仕事をし、時間になるとZoomに接続して例会参加することができ、効率的です。会員の中には、遠くの支部の例会や、他県の支部の例会に参加されている方も多いのではないでしょうか。海外からの参加も可能です。また、車椅子など障がいのある方にとっても自宅から例会参加でき、ダイバーシティを受け入れやすくなりました。

主催者側のメリットとしては、会場手配が不要になります。必要な広さのある会場を押さえるのは、大変でした。またZoomで録画すれば、例会の記録が簡単に残せます。報告記事も良いですが、録画を見ると内容がより詳細にわかり、臨場感も感じられます。また、同友会ホームページに公開可能な例会だけですが、リンクを貼っていれば優良なコンテンツとなります。検索順位も上がるでしょう。この録画を見た経営者にもヒントを与えるかもしれません。その結果、会員増につながるでしょう。

リアルで集まれないからオンラインでと始めた例会が、俯瞰してみるとダイバーシティを受け入れ、国境もなくなり、同友会の宣伝にもなりと、多くのメリットをもたらしています。これがDXです。

でもやっぱり例会はリアルで会い、話をしてお酒も飲みたいと言う声も多く、最近はリアルとオンラインを合わせた「ハイブリット形式」に変わってきました。ハイブリッド例会は、コロナが収まっても続くと思われます。

＊DX Point

単にインターネットを使って例会を配信するだけで、主催者にも参加者にも沢山のメリットができました。また録画データ利用など、さらなる発展性が望めます。

【事例２　共同求人の場合】

コロナ禍で、共同求人も様変わりしました。学生はオンライン授業なので学校には来ていません。でも今年度卒業する学生にとって、就職活動は必須です。例年であれば、学生に集まってもらい企業説明会を行うのですが、今年はできません。そのため、先生方と相談して、オンラインで企業説明会（求人活動）を毎月開催しようということになりました。そうしたところ、遠方の学生や障がいをもつ学生も参加してくれました。

また、学生にとってオンラインは敷居が低く、１～３年生も業界研究の一環として参加してくれたケースが散見できました。これは、翌年度以降の採用活動に繋がっていくのではないでしょうか。学生にとっても、費用無しで早くから就職活動を始めることが出来るということです。時間をかけて沢山の企業を見て社長さんと話をして、自分に合った会社を見つけることができるのです。

また過去のデータを整理し“見える化”する事も大事です。今まで毎年２回、30校近くと就職情報を交換していました。過去のデータを追う事で、あまり印象にのこっていませんでしたが、実は皆勤で参加してくれていた事がわかり、関係強化につながった学校もありました。データを活用する事もDXです。数値はウソをつかないし、何よりも説得力があります。

＊DX Point

オンラインツールでの説明会に切り替えただけで、参加者に沢山のメリットができました。対象が大学４年生だけでなく１～３年生まで広がり、今後の展開が楽しみです。

次からは、ちょっとした事例となります。

【事例３　東京商工会議所のビジネスマッチング】

やはりリアルで人が集まれないのでオンラインで行いました。コロナ禍で運動靴の需要が減って困っている東京の運動靴メーカーと、北海道の靴の卸の方が意気投合。コロナ禍でも雪は降ります。雪でも滑りにくい機能性の高い防寒靴を作る事になりました。オンラインツールを使い、商圏が関東から全国へと拡大しました。

＊DX Point

関東から全国へと商圏拡大。これによって、売上もアップ、作る商品も幅が広くなりました。会社として、狭くなっていた視野が広がりました。

【事例４　テレワークの導入】

コロナでリモートワークや在宅勤務が続き、事務所が無くとも会社が廻る事に気が付きました。その結果、事務所を他社に貸すことにしました。また２か所事務所があったのですが、行き来する必要も無くなり、精神的に楽になりました。なんと時間を無駄にしていたことでしょうか。

＊DX Point

働き方改革になりました。空いた時間で何をするか、これからのポイントです。

【事例５　営業活動方法の変更】

お客様相手にリアルな営業活動できないので、本を書き、SNSを使って集客しました。商圏が広がり、今まで来店されなかった人もオンラインで来店されるようになりました。

＊DX Point

事例３と同様。商圏が広がり、既存顧客の掘り起こし、新規顧客獲得に成功しました。日々蓄積されていくコンテンツを使って、さらなる発展が望めます。

【事例６　かながわ経営カンファレンスの開催方法】

かながわ経営カンファレンスだってDX。新たな時代への挑戦という意味を込めて、リアルとオンラインでのハイブリッド形式で開催しました。さらに第５分科会では、予め実践事例のインタビュー動画を作成しておき、報告しました。新しい例会の形となったのではないでしょうか。

＊DX Point

コロナ禍での全県例会を成功させることが出来ました。報告者が壇上で話すだけでなく、新しい報告スタイルの提言になりました。

（株）応用ソフト開発自社製品の出退勤システム。社員証をかざすと出勤と退勤がクラウド上に記憶されます。このシステムをどう使っていくか考えるのがDX。

ちょっと急ぎ足で変化してみませんか

DXは、そんなに敷居が高いですか？　いままでに皆さんは、ゆるやかに大きな変化に対応してきました。たとえば、そろばんから電卓へ、そして表計算ソフト（Excel等）へと。電卓が出始めた頃は、そろばんの方が早くて正確だと言って、頑として電卓を使わなかった方もいました。表計算ソフト（Excel等）が出た時は、パソコンなんて使えないと言っていた人が沢山いたのではないでしょうか。でも今や、表計算ソフト（Excel等）は当たり前のものとなりました。電話からFAXへ代わり、そしてEメールへ代わった時も同様です。今やEメールは、当たり前となりました。

コロナの影響で、世の中は急激に変わりました。もう元の経済の仕組みには戻らないでしょう。今まで皆さんは、ちゃんとゆるやかに変化してきました。これからは、ちょっと急いで変化してみてはいかがでしょうか。ピンチをチャンスに変えるため、新たな時代に生き残るため、歩幅を広げ急ぎ足で歩きましょう。DXで自社のビジネスをトランスフォーメーションするのです！

〈取材・文／（有）明和企画　野垣博文〉

株式会社応用ソフト開発
ソフトウェア開発及び技術コンサルティングを行う。
最近では、中小企業向けにクラウド型の営業支援ツールや販売管理ソフトの開発と販売を始める。また、安価な小型コンピュータ（RaspberryPiなど）を使いAIやIoT関連の情報端末の開発も行っている。

小さな“困った”をIT化し、DXに育てていく

～小林運輸株式会社の事例～

実際にDXに取り組むと、会社はどのように変わるのでしょうか？かなカン第５分科会でも紹介された「小林運輸株式会社」代表取締役 小林 誠氏にお話を伺ってきました。

小林運輸株式会社は61輌のトラックを保有する物流会社です。平塚と茨城に危険物倉庫を保有する倉庫業でもあり、保管から出荷、配送まで請負うロジスティクス企業です。関東圏はもちろん、遠くは九州までの配送エリアを輸送しています。

今回は、業務改善のために自社開発したという「安全はいしん君」、「配車かくにん君」という２つのAndroidアプリについてお話を伺いました。

しかし、「これはIT化であって、DXではない」と小林氏。小林氏がそう考えた理由はどこにあるのでしょうか。

「安全はいしん君」で安全教育を通信教育化

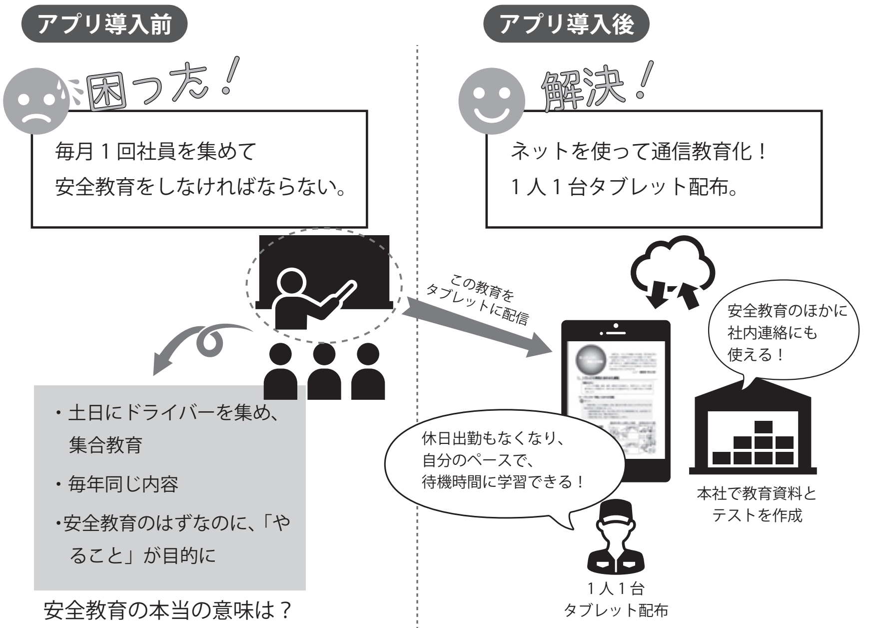
「安全はいしん君」とは、対面で行っていた安全教育のテキストと理解度テストをネット配信／受講／確認するシステムです。

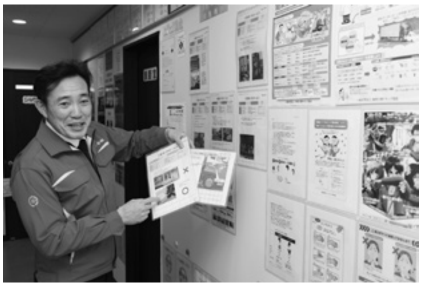
トラックなどの輸送車は、一旦事故が発生すると大きな社会的影響が生じることが多いため、毎月１回安全教育を対面で行うように義務付けてられています。また、国土交通省の巡回指導もあり、実施状態がチェックされています。

しかし、トラックドライバーは納品先により出発時間もバラバラのため、なかなか全員が集まることが難しい職種です。対面で行うためには、わざわざ休日に出社してもらってやるしかありません。しかも、毎年ほぼ同じ内容です。従来のやり方だと、「教育の先にあるはずの『理解』よりも『やること』が目的になってしまいます。それでは意味がありません。」と、小林氏。そこで、ネットを使って通信教育化しようと思い立ちました。その結果、ドライバーは待機時間を使用して受講することができるようになりました。

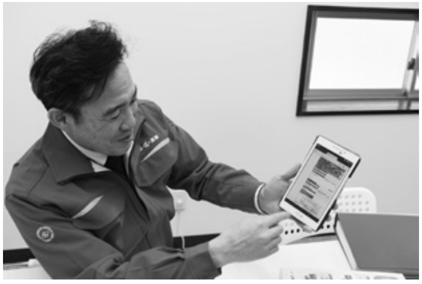
「安全はいしん君」とは

対面で行っていた安全教育のテキストと理解度テストをネット配信／受講／確認するシステム。ドライバーの待機時間を使用して受講することができる。





２つのアプリでは届けられない社内の情報共有は壁面全面にマグネットを埋め込んだ掲示板で掲示をしている。「掲示が景色にならないよう、こういった情報を動画配信していきたい」と小林氏。



実際に使用されているタブレットと「配車かくにん君」。Googleマップとともに、庭先情報や構内地図などが表示される。

「配車かくにん君」で情報の共有化ができ、お客様とのトラブル減少も

「配車かくにん君」とは配車情報、積荷情報や納品先の庭先情報（構内の地図、荷下ろし場所、構内ルールなどは「庭先情報」と呼ばれています）をネットで配信するシステムです。これにより、従来はドライバーがファイリングしていた情報も、広く社内共有できるようになりました。

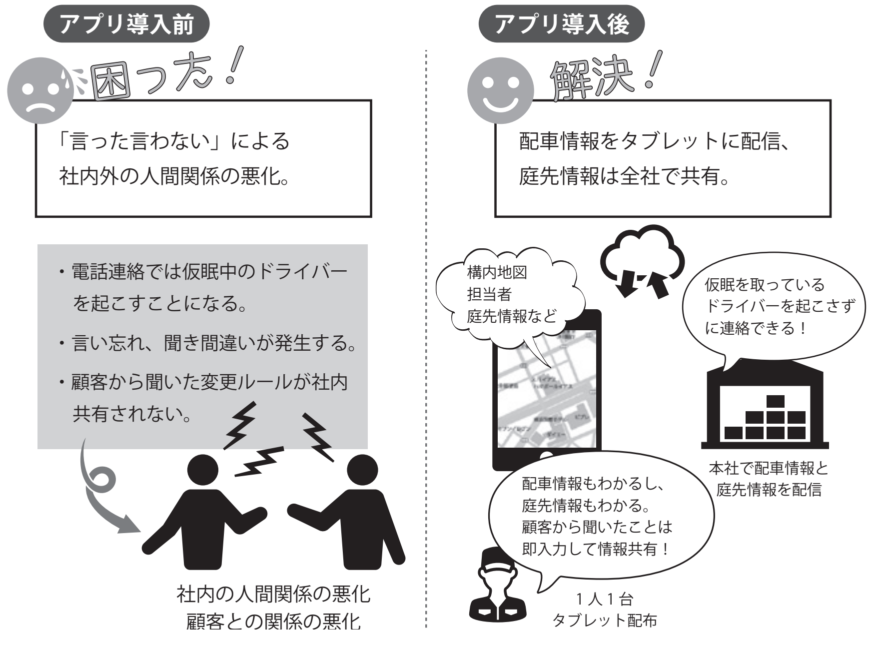
「配車かくにん君」を作ったきっかけは、社内やお客様とのトラブルでした。それまでは、ドライバーは個々に納品先の情報を自分なりにまとめ、トラックの中にファイリングして持っていました。ところが、これはあくまで個人のメモのレベルで、他の人に見せることもありませんでした。

また、配車や「庭先情報」などの本社からドライバーへの指示は、すべて電話で行っていました。しかし、電話だとすべてを伝えられません。何かあると、「本社に伝えたはずだ」と納品先で怒られるのはドライバーでした。また、ドライバーも電話で聞いただけなので、積み残しや積み間違いが起こる状況が発生しやすくなっていました。

さらに、お客様の方も、一人のドライバーにルールの変更を伝えれば、社内でも共有されると考えていました。そこで、最終的にしばしば「言った、言わない」の話になり、社員同士も、会社とお客様の間も人間関係が悪化することがありました。そこで開発したのが、「配車かくにん君」です。

「配車かくにん君」とは

配車情報、積荷情報や納品先の庭先情報をネットで配信するシステム。
ドライバーがファイリングしていた情報も社内共有することができる。



社員が開発に着手し、今ではなくてはならないものに

このように、「困った」「どうしよう」という現状把握から始めて、どう解決しようかと考えた結果生まれたのが、「安全はいしん君」と「配車かくにん君」という２つAndroidアプリです。小林運輸にはたまたまアプリが組める社員がいて、やってみようということになりました。７年前のことでした。

しかし、当時、ドライバーは23歳から62歳までいて、平均年齢は44歳でした。運送会社ではドライバーの高齢化という問題があり、拒絶まではいきませんでしたが、最初は戸惑うドライバーもいました。しかし、馴れるにつれて、なくてはならないものになってきました。

アプリには目的に合わせた工夫が満載

２つのアプリとも、ドライバーにはメールで連絡が届くようになっています。「今週の教材」や「配車連絡」というタイトルのメールです。そして、到着したメールを開くと、アプリが起動されるようになっています。これは、休憩中の「ドライバーを起こさない」ための工夫でもあります。

この他にも、目的に合わせた工夫を入れてあります。たとえば、「安全はいしん君」では、教育のテキストをPDF化して配信していますが、理解しやすいように図を多く入れるようにしてあります。また、PDFを流し読みしないように、数秒経たないとスクロールできないようになっています。さらに、読了や理解度テストの結果は本社に送信されるので、誰が読んでいないかなども把握できます。

一方、「配車かくにん君」では、庭先情報をドライバーが更新できるようにし、社内で情報共有できるようにしています。また、どこで何を積み、どこで降ろしたかなど、納品に関する情報を本社に送信することで、本社でも即時に状況の把握ができるようになりました。この結果、ドライバー、会社の双方の心理的な負担が激減しました。

また、「配車かくにん君」では、無用な諍いを無くして人間関係の改善ができたことと、夜間に走り昼間仮眠を取るドライバーを起こさないようになったことが一番の効果で、これが安全面に大きく寄与していることは言うまでもありません。庭先情報を共有化することができ、顧客からのクレームも大幅に減りました。

実は、これらのアプリ導入に際し、タブレットを一人一台配布しています。従って、コスト面では通信費がかかるようになっただけでなく、アプリに携わる社員の業務が増え、実質的にはコストアップしていると言います。それでも、お金に換えられない無形効果があるようで、「これが一番大切です」と、小林氏は語ります。長い目で見ると、導入しないことで発生したかもしれない事故の費用や教育のための休日出勤など、トータルではコストダウンになっているのかもしれません。

小さい「困った」の種をIT化して育てDXの大きな実に育てる

それでも、当初小林氏は、アプリの開発はIT化であってもDXではないと考えていたようです。

「DXというのは最終的に『販売に至ってはじめてDX』だと聞いたことがありました。アプリの完成当初、販売をしようと展示会に出展したこともあるのですが、評判は良くても反響にはならず…。アプリを売ると言えば、CD−ROMで販売するくらいの知識しかなく、売り方もわかりませんでした。その頃、アプリを作った社員が退職してしまったということもあり、販売はあきらめました。」と、小林氏。

その認識を変えたのは、株式会社応用ソフト開発 代表取締役 鈴木克彦氏が「DXは未来への投資」と説明するのを聞いた時だったそうです。

「初めて、うちがやっていることはDXだと納得しました。」

このように、DXのはじめの一歩はIT化です。それをDXと言えるまで発展させられるのかどうかは、経営者や社員がどのように考えていくかなのではないでしょうか。

小林運輸株式会社の事例は、小さい「困った」の種をIT化して育て続けてきたからこそ、大樹となり実を付けたと言えます。その実こそ、「社員の働き方」「人間関係」「業務」の改善、「クレームの削減」と言った無形効果でした。その実は大きく育ち、確実に会社を変えています。

「今後は、動画配信ができるようにしていたいと考えています。ドラム缶の積み方や日常点検の仕方など、これまでは紙に印刷して配布して、ポイントを教えてきました。しかし、細かいところまではなかなか伝わりません。ベテラン社員のやり方を動画配信することで、若手の教育にもなり、先輩後輩の良い関係性を築けたら良いと考えています。

また、『昨日、こんな危ない事例がありました。』と車載カメラの映像を配信することで、迅速に情報共有することもできるようになると思います。

そして、再度システムの販売も考えています。今度はサブスクリプションなど、時代に合った売り方ができると思います。最終的には受注もオンライン化し、社内の請求書発行など他のシステムとも連携、統合できるようにしたいです。」

そう語る小林氏は、まだまだ「IT化」の種を持っているぞという笑顔を見せていました。まずはIT化。御社も小さな一歩からはじめてみませんか。

〈取材・文／(株)アールジャパン　荒岩理津子　写真／(有)明和企画　野垣博文〉

申 し 込 み

※一部の会合は実際会場に集まるリアル形式とオンライン会議のZoom形式の併用で行いたいと思いますが、緊急事態宣言期間が続く場合はZoom形式のみの開催予定となります。
※会場は変更の可能性がございますので詳しくはe.doyuをご確認ください。

横浜中央支部

申込みはコチラ▼

2月17日（木）午後6時30分～

テーマ：DXって何だろう？それって中小企業に必要なの？～あなたの会社は「現状維持」それとも「変化」どちらを選択するのか？～
ナビゲーター：㈱応用ソフト開発
代表取締役　鈴木克彦氏（川崎支部）
場　所：神奈川中小企業センタービル（リアル＆Zoom含）
会　費：無料

たま田園支部

申込みはコチラ▼

2月19日（金）午後6時30分～

テーマ：自社の現状と課題を語る！！
㈲さんえん　井田英彰氏
㈱レスポンス　松村剛一氏
㈱SOERUTE　山上剛史氏
税理士法人誠和コンサルティング　浅井晃一氏
弁護士法人ASK　新百合ヶ丘オフィス　山岸敦志氏
社会保険労務士事務所リズム　菊川洋平氏
プロジェクト上昇気流　小林英二氏
場　所：てくのかわさき（リアル＆Zoom含）
会　費：無料

川崎支部

申込みはコチラ▼

2月26日（金）午後5時00分～

テーマ：２人の経営者が熱く語る！理想の会社への新たなるチャレンジ！
～本音で語る経営変革の第一歩！～
報告者：フラットパートナーズ会計事務所
代表税理士　平井慎一郎氏
誠建産業㈱　代表取締役　吉田誠司氏
場　所：川崎市産業振興会館（リアル＆Zoom含）
会　費：無料

県央支部

申込みはコチラ▼

2月25日（木）午後6時30分～

テーマ：選ばれる企業を目指して！
～「働き方改革」「健康経営」の取組～
講　師：三井住友海上海上火災保険株式会社
営業推進部法人開発室次長
三井住友海上経営サポートセンター
経営リスクアドバイザー　五十嵐朋人氏
場　所：大和市文化創造拠点シリウス（リアル＆Zoom含）

相模原支部

申込みはコチラ▼

2月19日（金）午後6時30分～

テーマ：ホントに共育ちになっているのか？
社員教育の苦悩と取り組み
報告者：㈱ワイエムジーソフト
代表取締役　軍司 敦氏
場　所：ユニコムプラザ相模原（リアル＆Zoom含）
会　費：無料

湘南支部

申込みはコチラ▼

2月16日（火）午後6時30分～

テーマ：無限に広がる将来への展望
～ミエルカって何？ちょっと体験してみませんか？～
報告者：じぶんsmile　代表 林 英奈氏
場　所：藤沢商工会館ミナパーク（リアル＆Zoom含）
参加費：無料

県南支部

申込みはコチラ▼

2月16日（火）午後6時30分～

テーマ：事業革新は自己変革から！
～社員とともに厳しい時代を乗り越える～
報告者：㈲荒井電気工事　代表取締役　荒井昭貴氏
場　所：横須賀市産業交流プラザ（リアル＆Zoom含）
会　費：無料

小田原支部

申込みはコチラ▼

2月15日（月）午後6時30分～

テーマ：小さな企業でも世の中に貢献したら…
～流れに身を任せ…～
報告者：㈱FCC　代表取締役　深澤正司氏
場　所：おだわら市民交流センターumeco（リアル＆Zoom含）
会　費：無料

【その他のセミナー】

ダイバーシティ委員会

申込みはコチラ▼

2月12日（金）午後6時00分～

テーマ：「障害者福祉部会」発足会
場　所：神奈川中小企業センタービル（リアル＆Zoom含）
会　費：無料

青年部会

申込みはコチラ▼

2月18日（木）午後6時00分～

テーマ（仮）：経営実践報告
報告者：LM総合法律事務所　弁護士　網野雅広氏
㈱ソリッドプラス　代表取締役　鈴木 大氏
場　所：神奈川中小企業センタービル（リアル＆Zoom含）
会　費：無料

同友会を知る為のオリエンテーション

申込みはコチラ▼

2月24日（水）午後6時30分～

場　所：Zoomミーティング
会　費：無料
同友会と私：旭フォークリフト㈱
代表取締役　横江利夫氏（相模原支部長）

報　告

横浜中央支部

報告はコチラ
▼

12月15日（火）午後６時30分～

テーマ：来年飛躍しよう！～実践できる事業計画～
報告者：㈱Ｒコンサル　代表取締役　田中久和氏
場　所：神奈川中小企業センタービル

横浜北支部

報告はコチラ
▼

12月16日（水）午後６時30分～

テーマ：自社の現状と課題を語る!!
報告者：エコプロコート㈱ 代表取締役 伊藤大輔氏
場　所：①都筑会場、②青葉会場、③港北会場、④緑会場
　　　　※４つの会場で開催。全てリアル&Zoomになります。

たま田園支部

報告はコチラ
▼

12月18日（金）午後６時30分～

たまでんセミナー：
「経営戦略の策定はこうする!!」
～現状分析⇒背略策定⇒実践！ 経営サイクルを回そう！！～
講　師：㈱ウィエムジーソフト 代表取締役 軍司 敦氏
場　所：ユニオンビル（リアル&Zoom含）

川崎支部

報告はコチラ
▼

12月22日（火）午後５時00分～

テーマ：経営課題を洗い出せ!!～改善に向けての一歩を今すぐ踏み出そう！～
報告者：川崎信用金庫 参与　伊藤和良氏
場　所：川崎市産業振興会館（リアル&Zoom含）

県央支部

報告はコチラ
▼

12月16日（水）午後６時30分～

テーマ：社員がほとんどいなくなった！～退職者から学んだ経営者の実践～
報告者：㈱協同電気研究所 代表取締役 大塚研輔氏
場　所：大和市文化創造拠点シリウス

相模原支部

報告はコチラ
▼

12月21日（月）午後６時30分～

テーマ：やるしかなかった！根拠？ありませんよ！～雇用して気づいた経営者の責任　同友会での学びと実践～
報告者：㈱ファースト埼玉 代表取締役 星山忠俊氏
場　所：ぽっぽ町田（Zoom含む）

湘南支部

報告はコチラ
▼

12月15日（火）午後６時30分～

テーマ：なぜ、日本で大切にしたい会社なのか？
　　　　～究極の経営、選択制民主主義とは～
報告者：㈱エイチ・エス・エー
　　　　代表取締役　田中　勉氏
場　所：藤沢商工会館ミナパーク（リアル&Zoom含）

小田原支部

報告はコチラ
▼

12月23日（水）午後６時30分～

テーマ：働かない！？ 社長の話
　　　　～世界が認める理想の工場とは～
報告者：五光発條㈱　代表取締役　村井秀敏氏
場　所：おだわら市民交流センターUMECO（リアル&Zoom含）

【その他のセミナー】

ダイバーシティ

報告はコチラ
▼

12月24日（木）午後６時30分～

テーマ：夢実現に向けて進化するダイバーシティ経営
報告者：㈲パーソナルアシスタント町田
　　　　相談役　安藤信哉氏
場　所：未定

DVD販売　各￥8,000（消費税込、送料180円）

ビジネスセミナーVol. 1

40億円完済も見えた。なのに、悩みができた…
波乱万丈の40億円返済の物語。

（株）湯佐和　代表取締役　湯澤 剛氏

ビジネスセミナーVol. 2

人間尊重で増収増益経営
第６回「日本でいちばん大切にしたい会社」
大賞厚生労働大臣賞受賞企業

（株）エイチ・エス・エー　代表取締役　田中 勉氏

かながわ AREA ネットワーク

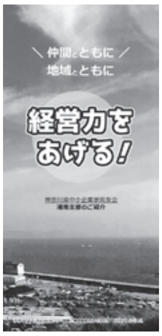
第３回　湘南支部

神奈川同友会 古参支部の一つ
上下関係のない、アットホームな雰囲気が魅力
～パンフレットとHPも支部独自に作成！～

神奈川同友会には10支部ありますが、第３回目の今回は、湘南支部をご紹介いたします。湘南支部があるのは藤沢市、茅ケ崎市、寒川町、そして相模川をはさんで平塚市、大磯町。現在は、会員のうち60％近くが藤沢市に居住または事業所を構えています。湘南支部の会員数は、56名です。男性49名、女性７名。（2020年12月１日現在）。支部の歴史は古く、昭和46年に藤沢地区活動としてスタートしています。このころは支部といわず、地区での活動でした。ちなみに、昭和51年当時、神奈川同友会の会員が400名の頃、藤沢地区会員はすでに80名でした。支部になったのは、昭和52年のことです。

右から鈴木支部長（社会福祉法人ひばり）、林氏（じぶんsmile♡）、長田氏（湘南中央法律事務所）

湘南支部ホームページ



湘南支部パンフレット

わきあいあいの湘南支部。早くコロナ禍が収束して、こんな風に集まりたい！

ざっくばらんに意見が言えて、気軽に相談できる関係

「地元出身者が多いため、会員同士の会話では、出身中学や学年が会話のきっかけになることも多いです。」と支部長の「社会福祉法人ひばり」副理事長 鈴木 暢氏。地元出身者でない場合は、「今どのあたりに住んでいるの？」といった質問を投げかけたりして会話が弾み始め、例会はあたたかい、アットホームな雰囲気にあふれています。つまり、地元意識が強いのだそう。上下関係のない、ざっくばらんに意見が言える、気軽に相談しやすい支部であることが特長だと語ります。

また、湘南支部は退会率が低いのも自慢の一つ。新人会員も当然ながら経営者として一人前に扱ってもらえ、会の重鎮が威張っていないのだそう。そんなことも、退会率の低さに繋がっているようです。

会員を増やす手段の一つとして、藤沢商工会議所の会員に！

湘南支部は藤沢商工会議所ミナパークで支部の例会を開催していることもあり、支部として藤沢商工会議所の会員になっています。

これは戦略的な理由から。商工会議所の会報に、支部例会の案内チラシを（有料ながらも）同封して商工会の会員に「同友会」を知ってもらうチャンスを増やしているのです。これによる効果は非常に高く、新入会員を増やすことにも繋がっているそうです。

他支部に先駆けて支部独自のパンフレットやHPを企画、作成

他にも新入会員を増やす積極的な策をとっています。それは、支部独自のパンフレットやホームページを作ること。

「同友会を、そして湘南支部を知ってもらい、新たな仲間を増やしたいね。」と、鈴木氏が支部長になる前から企画はあったそうですが、ついに今年度、パンフレットもホームページも完成しました！湘南のイメージらしくマリンブルーを基調にし、昨年入会したばかりの「じぶんsmile♡」林英奈氏が中心となって制作しました。

企画の段階で、完成したパンフレットを誰にどのようなシチュエーションで渡し、渡す人が話しやすい流れも考えてレイアウトを構成。その後、ホームページで不明点をフォローするというきめ細やかな動線設計も構築しています。

また、工夫したのはそれだけではなく、パンフレット裏面の一番下に【紹介者】の欄を入れています。これは、どこかに配架しておくのではなく、会員一人一人の手から直接渡すことを大事に考えて作成したものです。

例会の参加率は第２位！

高い結束力が感じられる湘南支部ですが、なんと例会の参加率は32.5％と、神奈川同友会の中で第２位！（ちなみに、第１位は小田原支部の48.9％）

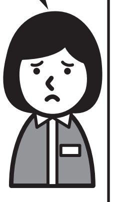
現在、支部の例会は前述のとおり藤沢商工会議所ミナパークで開催されています。JR東海道線、または小田急線の藤沢駅から徒歩で約５分。横浜・川崎方面からも、県央地域からも比較的アクセスがよい立地です。そこで、他支部の方も、ぜひ湘南支部の例会に出かけてみてはいかがでしょうか。

現在、Zoomとのハイブリッドでも開催中です。鈴木支部長からは、「Zoomになってからのデメリットは全くないです！」とのこと。遠方の方も、Zoomでお気軽にご参加ください。

担当地域：藤沢市、茅ヶ崎市、平塚市、寒川町、大磯町
支部長：鈴木 暢
会員数：57名（2021年１月19日）
湘南支部WEB▶
https://sites.google.com/view/kanagawa-doyu-shonan/

〈取材・文／ODCatalyst　本木 和子／株式会社アールジャパン　荒岩 理津子〉

コロナでリアル店舗での販売が難しい・・・
と悩んでいる経営者さんたちへ！


インターネットのお店で
商品を売りませんか？？
インターネットショップ出店のお手伝いを
いたします！ご相談ください。
ホームページの
分析もします！
株式会社 ハマ企画
横浜市西区高島 2-10-13 横浜東口ビル 708
https://hamakikaku.co.jp/

経営者のみなさまへ

伝えよう
あなたの会社の想い!!
記念誌　広報誌
機関紙 … etc
〒236-0004 横浜市金沢区福浦 2-1-12
TEL（045）785-1700 FAX（045）784-6902
株式会社 神奈川機関紙印刷所

Hi! Hi! Hi! 会員訪問

〒243－0801厚木市上依知905-4
URL：https://kk-saffron.com/

有限会社サフラン　代表取締役　井田育宏さん（県央支部）

厚木市と愛川町の内陸工業団地にありながら、まるで避暑地を訪れたかのような林に囲まれた山小屋風の店舗。それが、庭とエクステリアの設計・施工をしている「景色工房サフラン」です。高台にあるため眺めが良く、遠くは相模大野辺りまで見渡せます。

社長の井田さんは、三重県松阪市の出身。社名の「サフラン」は、井田さんのお母様が厚木市内で営んでいた洋服リフォーム店の名前を引き継いだものです。

森のような庭づくり、庭のような森づくり、森のような庭に建物が沈んでいる景観を「モリニワ」と名付け、庭のある心地よい外空間作りを提案しています。ひとつでも多くの美しい庭、エクステリアを後世に残したい。そんな思いで平成12年に会社を設立しました。同友会には、2019年11月に群馬同友会の方からのご紹介で入会しています。

「勉強することが山ほどあります。感性やセンスも磨かないと…。」と語る井田さん。お客様と一緒に、これからも理想の景色を考え、追求していきたいと語ってくれました。

〈訪問取材／（有）テーラーマックス　外木宏明〉

NEW FACE 新会員紹介

	会社名	社内役職	会員名	所属支部	入会日	事業概要	紹介者
1	プロジェクト上昇気流	代表	小林英二	たま田園	2020年12月１日	売上・利益アップのコンサルティング	事務局（FB）
2	未来づくり自分づくり合同会社	代表社員	吉野賢治	横浜みなと	2020年12月１日	人材育成のための教育事業及び研修事業	渡辺 学
3	㈱HSG	代表取締役	羽田野龍丈	相模原	2020年12月８日	接骨院経営	横江利夫
4	一般社団法人ペガサス	代表理事	木村志義	湘南	2020年12月14日	障害者総合支援法に基づく就労移行支援事業	事務局

2021年１月１日現在会員数：776名（全国会員数：45, 900名）

会員Information

～会員皆様からの情報をお待ちしております～

住所変更

ムーブ行政書士事務所　代表　根布浩光氏（横浜みなと支部）
新：横浜市中区本町３－24－２　ニュー本町ビル５階C号室
旧：横浜市鶴見区鶴見中央２－５－３－302

㈱Terra-Cco　代表取締役　谷村紀嗣氏（たま田園支部）
新：東京都品川区東大井５－２－７　磯部ビル２F　202
旧：東京都品川区大井１－54－６－301

編集後記

新型コロナウイルスは収束どころか新たな局面へ向かおうともしています。それによって中小企業にもデジタル化をはじめ様々な選択を迫られていますが、どんな環境下であっても「考え続ける」ことを忘れずに「自分（自社）は何ができるのか」を貴重な仲間である同友会メンバーと話していきましょう。

株式会社神奈川機関紙印刷所　小池 一臣

かながわPOWER

株式会社総合環境分析
https://www.s-kb.co.jp/
〒226-0003 横浜市緑区鴨居1-13-2
TEL: 045-929-0033（代） FAX: 045-929-0039

38年の歴史をしっかりと引き継ぎ、環境分析と水質検査で社会貢献

安全な環境を守る、誇りが持てる仕事

「中国やインドでは、公害が原因で病気になり毎年100万人以上が亡くなっています。日本も近代化以降、同様に公害がありました。安全な環境を守るために、社会性の高い環境分析や水質検査の仕事は欠かせません。」と、昨年事業承継したばかりの石渡壮社長は語る。

（株）総合環境分析は、様々な水や土、産業廃棄物や排ガス等の中にどのような物質がどれくらいの濃度で含まれているかを調べ、報告書としてお客様に提供する「環境計量証明事業」をメインに行っている。その中でも、「水質分析」が売上の7-8割を占める。工場・下水などの排水分析や、河川や湖沼、地下水などの環境調査に関わる水質分析も行っている。飲料水（水道水）検査は同社がもっとも得意とする分野で、神奈川県内ではナンバーワンを誇る。中規模以下の自治体は自前での水質検査が難しく、同社のような厚生労働大臣登録の検査機関に委託しており、同社は秦野市、座間市、山北町など1都6県のエリアから受注している。

もう1つの売上の柱は「土壌・地質・産廃等の分析」だ。現在の顧客数は約700あり、民間と行政の割合は5.5:4.5。昔は9:1と圧倒的に民間が多かったが、年々行政からの受注が増えてきている。夏場の検査数は、多い日で200検体以上。冬場でも菌の検査だけで1日あたり平均100検体、そのほかの検査が入ると300検体前後を受け入れている。

本社技術2課分析室　実験台にて分析操作を行う技術社員

現在、横浜本社と町田技術センター、北関東支社（群馬）の3拠点があり、いずれにもラボ（分析室）を構えている。社員は62名、パート、アルバイトや役員までを含めると93名になる。20～40代が主の平均年齢約40歳の会社だ。

近年はHPからの引き合いも多く、北海道や九州の会社から受注することもある。今後はHPを強化して、更なる全国展開を目指す考えだ。

取締役に就任、事業承継への決意

2代目である石渡社長は、20歳の時アルバイトとして総合環境分析に入社。当時の社内制度の下、1年後に準社員、3年目に正社員となる。31歳で、一社員から実質ナンバー2である取締役常務に就任し、2013年秋、同友会に入会した。

親子2代のツーショット!
左が石渡 壮社長、
右が石渡 裕会長

当時は31期目。売上約5億9600万円に対し、期末の借入れ残額が6億400万円だった。正直、事業承継に不安もあった。しかし、同友会の青年部で何年もかけて学び、自社に自信を持ち、父である先代から会社を継ごうと腹を決めた。

同社は、30年前から月次決算をはじめ社内の数字を社員に公表している。ガラス張りにしている以上、財務体質や会社の体力も強化しないと社員が安心して永く働けない。そこで、全拠点の若手10数名と社長で委員会をつくり、経費削減について取り組み、社長の考え方や同友会の学びを共有し、経営指針について学んでいる。

元々営業畑だった石渡社長は「戦略がない安売りでは利益が出ない。ある程度良い条件で受注し、お客様の要求と社内の事情を営業が上手く調整できれば、結果的に良い仕事となり、また依頼される。このサイクルこそが利益を出せる営業だ。」と、自身が常務になってから営業に伝えている。その結果、仕事量が減少した年度においても、単価が上がったことにより利益がでるようになっている。

若い力を活かした明るい未来に向けて

新卒社員が26年ぶりに0になってしまった2020年の春、若手女性社員からの提案で社員主導の「採用プロジェクトチーム」が立ち上がった。若手中心に全拠点から合計10名程度で構成し、出身大学の教授たちへの売り込みをスタートした。その効果もあり、2019年は10名程度だったインターンシップ受け入れ数は、2020年末の時点で20名。インターン後、更に興味があれば、アルバイトができる環境も用意している。

「当社は技術の会社。蓄積してきたものをベテランから若手へ承継していくことはとても大事なことです。社長の交代は、いわばスタート。経営指針の10年ビジョンで掲げている『会社の売上げ12億、利益1億』に向かって、雇用を守り育て、社員が安心して永く働ける、人生を楽しめるような会社に成長させたいと思っています。」と、石渡社長は力強く語った。

石渡 壮社長
「真の事業承継は
これから! 社員と共に
会社を創っていく」
真摯な想いが
伝わってくる。

〈取材・文：（同）イーストムーンインターナショナル 卯月由美 / デザイン・レイアウト：（有）デザインスペースマジック 佐藤慎治〉

彩時季 2月

グリーンホーム
ヤマモト㈱
代表取締役社長
吉田 理恵子
（よしだりえこ）
（横浜北支部）

皆様いかがお過ごしでしょうか。緊急事態制限が再び施行され、いつになったらこの状況が落ちつくのだろうと不安な毎日です。でも落ち込んでばかりはいられませんね。未来に第二のコロナが発生しないよう、今を教訓に私達が生きていく術をもう一度考えていかなければなりません。

家族、仲間の大切さ、仕事のありがたさを改めて感謝する良い機会を与えられています。今月は節分です。ご先祖様が大切にしてきた日本古来の伝統行事を楽しみながら禍を振り払い、些細な日常を楽しむ心を大切にしたいです。

日々の生活の中、皆さまも免疫力を上げで身体を大切にお過ごしください。

【広報委員】
［横浜中央支部］中林正幸、網野雅広、松村千代、堤 由里恵、今井鉄平 ｜ ［横浜みなと支部］野垣博文、本田新市、川崎實智郎、木村亮太 ｜ ［川崎支部］外木宏明 ｜ ［県央支部］岡部達彦、天野哲也 ｜ ［湘南支部］鈴木 大 ｜ ［県南支部］荒岩理津子 ｜ ［小田原支部］小山暢宏、本木和子 ｜ ［たま田園支部］佐藤慎治、鈴崎治男、佐々木良司、卯月由美

表紙/photo：中林正幸〈（有）マス・クリエイターズ〉 / design：佐藤慎治〈（有）デザインスペースマジック〉

神奈川県中小企業家同友会
同友かながわ第423号

2021年2月1日発行（月刊） 毎月1回1日発行　編集責任者/中林正幸　発行:神奈川県中小企業家同友会 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル3F　TEL:045-222-3671 FAX:045-222-3672　制作・印刷/㈱神奈川機関紙印刷所